

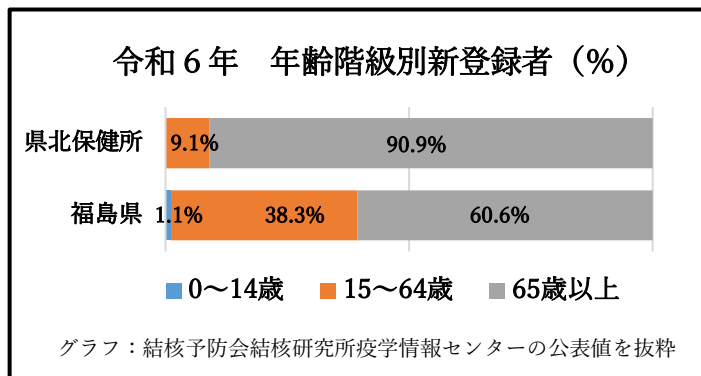
県北管内感染症ニュースレター

令和8年度 第6号

最近、何となく元気がない？もしかして・・・結核かも

毎年9月24日～30日は「結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間」です。結核は「昔の病気」とイメージする人もいるのではないのでしょうか。福島県の結核罹患率は、全国と比較し低いですが、令和6年の新結核登録者数は94人で、4日に1人は結核と診断されています。結核について、正しい知識を身につけ、定期健診や早期受診を心がけましょう。

県北管内の結核発生状況は？



県北管内のR6年新登録者の
9割以上が高齢者！

また、県内における**39歳以下の新登録者は全て外国出生者**です。



～外国人労働者を雇用する職場の皆様へ～
「かぜ症状や体調不良」が長引く場合は、
早期受診をすすめてください。

職場に迷惑
かけるかなぁ



結核ってどんな病気？

結核菌による感染症で、主に肺で炎症を起こします。

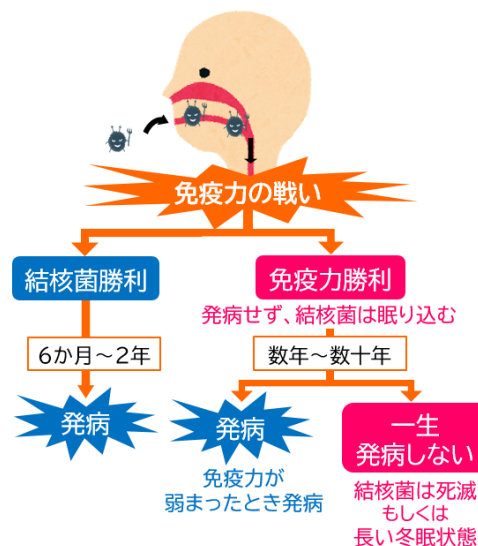
(国内の結核新登録者数の**約8割が肺結核**です)

肺結核の特徴的な症状は、**2週間以上の咳・痰・微熱**ですが、症状が乏しいこともあります。

排菌している患者の咳やくしゃみの「しぶき」とともに**菌が空気中に飛び散り、空気中を漂う菌を他の人が吸い込むことで感染します**。多くの場合、感染しても自身の免疫力で発病を防ぐことができます。(感染≠発病)

高齢者の結核について

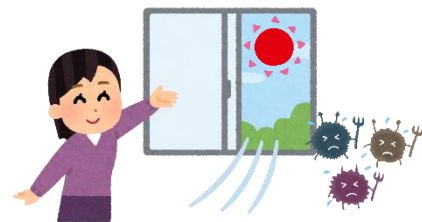
高齢者が多い理由は、結核が蔓延していた時代の感染や加齢による免疫力の低下(体内で休眠している結核菌の再活性化)等があげられます。高齢者では、症状が乏しく、継続する体調不良(**何となく元気や活気がない、食欲不振、体重減少、倦怠感など**)がみられます。そのため、日常的な健康観察や定期的な健康診断が早期発見につながります。また、高齢者施設等を利用する方は、集団感染のリスクが心配されます。**体調不良が続く場合には、早期受診を心がけましょう。**



受診遅れ…どうなるの？

現代では、抗結核薬などが開発され、適切な時期にきちんと薬を飲めば治ります。しかし、受診の遅れは、重症化や免疫状態を著しく低下させ、死に至ることもあります。また、重症化することで、**治療や入院期間が長期化**する場合があります。結核と気付かず結核菌を長期で排菌している場合には、他の人へ感染させるリスクや集団感染のリスクが高まります。

予防のために普段からできることは？



★基本的な感染対策をしましょう！



出典：厚生労働省 感染対策のポイント

★体の「免疫力」を高めましょう！

感染しても、免疫力で発病や重症化を防ぐことができます。

- 適度な運動
- バランスの良い食事
- 十分な睡眠

★予防接種が有効です！

乳幼児は、結核に感染すると重症化しやすいため、BCG ワクチンの定期接種（生後5～8か月の間に1回）があります。



★定期的な健康診断を受けましょう！

胸部X線検査では、無症状で進行する肺の病気を早期に発見できる可能性があります。

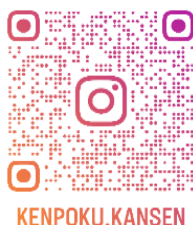
県内で流行している感染症情報

引き続き、手足口病が流行しています！

- ①感染経路
 - ・飛沫、接触、糞口感染
- ②症状
 - ・発熱(ほとんどが38℃以下)
 - ・米粒大の水疱性発疹(手のひら、足の裏や甲、口の中)
- ③特徴
 - ・2歳以下に好発(患者の半数以上)
 - ・症状が消失した後も、長期にわたりウイルスが便に排出される
- ④予防
 - ・基本的な感染対策！
 - ・家族等と食器やタオルを共有しない！
 - ・おむつを交換した後は、排泄物を適切に処理し、しっかり手洗い！



インスタフォロー
お願いします！



KENPOKU.KANSEN

発行日:令和 8年 8月 31日

発行元:福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113